

令和8年度7月定例記者会見 次第

日時：7月24日（金）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

①「文化でつながり、文化を生きる いとしま」始
動について

【市長発表】
文化課

②SDGsの取り組みをつなぐ「いとしまアクシ
ョンリレー」について

【市長発表】
企画秘書課

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：8月25日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

「文化でつながり、文化を生きる いとしま」始動

糸島市では、「文化でつながり、文化を生きる いとしま」を将来像に掲げ、令和8年度から5年間の「文化芸術推進基本計画」をスタートさせました。市民が日頃から文化芸術（アート）に触れる機会を創出することで、日々の暮らしに潤いがあり、心の豊かさを実感できる環境をつくるための取組を紹介します。

糸島市文化芸術推進基本計画の取組紹介ページ



糸島に「アートの森」を育もう

この計画では、文化芸術施策の推進に当たっては、次のような3つのアプローチを意識します。

1 人づくり…市民一人ひとりが文化芸術を身近に感じ、心が癒され、子どもたちが創造力を育む

- ・市民が文化芸術に触れる機会を創出し、その中でアートを体験し、感じ、手を動かすことで、「喜び」「感動」「刺激」「癒し」「意欲」などを感じるようになり、心豊かな暮らしにつながる。
- ・特に、次代を担う子どもたちに注目し、創造力や挑戦心を少しずつ身に付けるような環境を創り出すことで、将来的に、既成概念にとらわれず、新しく独創性に富んだ思考や行動ができる人材が育つことにつながる。

2 拠点づくり…文化会館や美術館、公園などを生かし、誰もが気軽に集い文化芸術活動ができる

- ・市民が文化芸術活動をし、アートを鑑賞する拠点として、伊都文化会館、伊都郷土美術館について、音響、美観、快適性の向上をはかる。
- ・これによって、従来よりも質の高い鑑賞や創造の体験をもたらす事業等をより安定的に実施することが可能となり、活動者、鑑賞者双方の満足度を向上させることにつながる。

3 仕組みづくり…文化芸術活動を支える人材や情報、資金などをつなぐ

- ・市民が文化芸術活動を継続的に行い、定期的にアートを鑑賞する機会を得られるようになるための「仕組み」について調査研究し、構築を目指す。
- ・文化芸術活動に係るヒト、モノ、カネ、情報が整い、互いにかみ合ってアートの森づくりの推進力となるような仕組みを目指し、地域性を生かした「糸島ならではのモデル」を模索する。

この3点を基軸に、ソフトとハード双方の事業を組み合わせることで、「糸島のアート」という「苗木」が少しずつ育ち、木が増え、将来的に「アートの森」（アートがあふれる状態のまち）になることを目指します。

1 「人づくり」の取組:いずれも令和8年度内の実施及び制度開始

1. 子ども芸術体験事業



糸島の未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むことを目的に、観る・つくる・演じる・対話の体験ができる芸術事業を、赤ちゃんから中高生までの幅広い世代を対象に、年に4回実施します。

- ・市内の子どもたちを対象に参加者を公募
- ・子どもたちが継続的に文化芸術に関心を持てるようなプログラムを企画
- ・公募型プロポーザル方式により最適な事業者を選定(8月上旬決定の見通し)

2. アーティスト派遣・受入補助事業



市内の学校等や校区・行政区のイベント等にアーティストを招く際の謝礼や交通費の 2/3 (上限 10 万円) を補助。身近な場所でプロの芸術に触れる機会を積極的に支援します。

- ・例えば、概ね 15 万円規模の事業の場合、自己負担額 1/3 (5 万円程) で実現可能
- ・学校の特別授業や行事・部活動の練習や発表にも活用可能
- ・学校等がアーティストに直接依頼する場合は学校等に対し、アーティスト派遣業者が学校等にアーティストを派遣する場合は、当該業者に対して補助(学校等が当該業者に支払う委託料の減額につながる。)
- ・アーティストや派遣業者等の情報をお求めの場合は、市で分かる範囲で提供

3. 公募展支援事業



広く市民を対象に公募する文化芸術のコンテスト等への支援や市長賞の設置、副賞の提供を行います。市民の皆様の創作発表の場を充実させ、日頃の活動の成果を広く届ける後押しをします。

- ・市民が文化芸術に取り組む機会となる公募展、コンテストやコンクールを支援
- ・市内すべての小学生または中学生を対象とする場合は、学校のコンテスト等にも利用可能
- ・民間のコンテスト等を後押しすることで、文化芸術の創造・挑戦の選択肢を増やすことを目指す。

4. 美術館使用料の減免制度拡充



伊都郷土美術館を、市内の学校(部活動も含む)や幼稚園、保育施設がその子どもたちの文化芸術を発表する行事に利用する場合に限り、使用料を全額免除します。次代を担う子どもたちの創造と発表の機会をより身近なものへと広げます。

- ・授業や部活動の作品展示や発表に活用できます。美術に限らないジャンルも可能
- ・学級(担任)、部活動(責任者)、PTA(会長)、中文連や PTA 連合会も申請可能
- ・設営・撤収・作品管理や受付・接遇等、行事のための体制は申請者側で対応

5. 計画策定記念事業

糸島市文化芸術推進基本計画の策定・スタートを記念し、コンサートや特別展を準備しております。市民全体が文化芸術に触れられる機会の創出を目的としています。

(1) アクロス弦楽合奏団糸島公演

【日 時】令和8年8月22日(土) 17時30分開場、18時開演(約2時間予定)

【会 場】伊都文化会館大ホール

【入場料】小学生無料、中高生800円(当日券1,000円)、一般1,800円(当日券2,000円)

全席自由、チケット販売:7月1日(水)から発売中(未就学児の入場不可)

【概 要】県内外で活躍中の「アクロス弦楽合奏団」が、パッハをはじめ本格的なクラシックをお届け
チケット申込等、詳細は別紙ご案内(チラシ)を参照



(2) 文化芸術推進基本計画策定事業(特別展)

【時 期】12月~2月(調整中)

【会 場】伊都郷土美術館、市民ホール、志摩中学校ほか

【概 要】県内外で活躍する糸島出身の画家・田中千智さんを招き、伊都郷土美術館で特別展を開催
するほか、トークイベント、出身校訪問での生徒交流・講演等を実施し、市民や生徒が質の高い芸術に触れる機会を創出



2 「拠点づくり」の取組

ともに開設から40年以上が経っている、伊都文化会館と伊都郷土美術館の改修を行い、ユニバーサルデザイン化等を進め、文化芸術を育て、新たな交流を生み出す拠点としての利便性・安全性を高めます。

1. 伊都文化会館

・大ホール音響設備改修:施設の信頼性と魅力の向上を図り、アーティストの利用を促進するとともに、質の高い鑑賞体験の機会創出・拡大を目指す。

⇒設計:令和8年度、工事:令和9年度

・トイレ洋式化:誰もが安心して快適に利用しやすい施設へとユニバーサルデザイン化を推進

⇒設計:令和8年度、工事:令和9年度

・給水ポンプ・ガス給湯器改修:機能改善、省エネ化と利用しやすい環境づくり

⇒工事:令和8年度

・備品更新(長机・椅子・展示用パネル):軽量かつ安全性の高い備品への更新を行い、文化芸術活動における利便性を向上させる。

⇒令和7年度から令和10年度まで順次更新

・デジタルサイネージ設置:イベント情報の発信・PRの効率化、集客力向上・利用促進を図る。

⇒設置:令和8年度



2. 伊都郷土美術館

- ・内装改修(壁紙・天井):展示空間の美観向上、防災性・防汚性等の機能向上を図ることで、美術品の保全と鑑賞体験の質を向上
⇒工事:令和8年度
- ・電動シャッター改修:館の入口となる電動シャッターを改修し、騒音の軽減と防犯、自然災害等への対処機能を向上
⇒工事:令和8年度
- ・通信回線工事:館内にインターネット(Wi-fi)環境を整備し、来館者の利便性と鑑賞体験の向上につなげる。
⇒工事:令和8年度
- ・デジタルサイネージ設置:イベント情報の発信・PRの効率化、集客力向上・利用促進を図る。
⇒設置:令和8年度



3 「仕組みづくり」の取組

1. 中間支援組織の立ち上げに向けた調査研究

文化芸術の専門性を持つ人材が、市内の文化芸術活動団体等の取組について助言や支援、伴走等をする仕組みや機関(中間支援組織)の立ち上げに向けて、あり方や求められる機能などを、九州大学と連携して研究します。このような組織化が「アーツカウンシル」等の形で全国的な広がりを見せる中、糸島で文化芸術に取り組む皆さまとの対話等を通じて、糸島ならではのモデルを模索します。

- ・文化芸術活動を牽引し、資金の調達・執行、活動活性化を担うコーディネート機能を持った中間支援組織立上げを目指し、組織・機能、運営などを、九州大学の知見を生かした調査研究を実施。
- ・全国の事例を参考にしつつ、市内の文化芸術関係者等との対話等を通じて、糸島ならではのモデルを模索。
⇒調査研究:令和8年度

2. 持続可能な文化芸術活動に向けた施策

市内の文化芸術情報を分かりやすく共有し、市民の参加の選択肢を広げるため、ポータルサイトの立ち上げやボランティア登録制度の整備に取り組みます。「1. 中間支援組織の立ち上げに向けた調査研究」による知見も生かして、令和9年度の実現を目指します。

- ・ポータルサイト開設:市内外のアート情報を集約・発信し、市民とアーティストの活動を繋ぐポータルサイトの設計・開設に取り組む。
⇒設計・公募・開設:令和9年度予定
- ・ボランティア登録制度:文化芸術に関するボランティア登録を制度化し、文化芸術活動事業に協力してもらいながら、中間支援組織立上げに向けた人材発掘効果も見込む。
⇒運用開始:令和9年度予定

【問い合わせ先】

糸島市 地域振興部 文化課 文化振興係 担当:松藤・大園・中牟田
電話番号:092-332-2093 メール:bunka@city.itoshima.lg.jp

アートの森づくり事業に係るロードマップ

[illegible]



伊都文化会館 自主事業

糸島市文化芸術推進基本計画策定記念事業



アクロス ー糸島公演ー 弦楽合奏団



(C) Mitsunori Kumadaki

2026
8.22 [土]

伊都文化会館
大ホール

開場 17:30 / 開演 18:00

Program

バッハ

ブランデンブルク協奏曲 第3番 ト長調 BWV 1048

ブランデンブルク協奏曲 第6番 変ロ長調 BWV 1051

ロッシーニ

弦楽のためのソナタ 第1番 ト長調

バルトーク

ディヴェルティメント Sz.113

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

チ
ケ
ッ
ト

全席自由

一般 1,800円 (当日券 2,000円)

中高生 800円 (当日券 1,000円)

小学生 無料 / 未就学児の入場はご遠慮ください。
前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

取
り
扱
い

発売日 7月1日 (水)

伊都文化会館 9:00~19:00

糸島市観光協会 9:00~17:00

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
[Pコード:325-418]

t e k e t <https://teket.jp/11970/67494>



主催：株式会社福岡市民ホールサービス（伊都文化会館指定管理者） / 糸島市
協力：公益財団法人アクロス福岡
お問い合わせ：伊都文化会館 福岡県糸島市前原東2-2-7 092-323-1128



アクロス弦楽合奏団

2004年にヴァイオリニスト景山誠治の呼びかけにより、アクロス福岡のオリジナル合奏団として発足。山本友重、田中雅弘、吉田秀をはじめとする国内屈指の演奏家と、九州交響楽団メンバー、才能ある若きヴァイオリニストが集結。福岡シンフォニーホールを拠点に活動を行うほか、これまでに県内外26ヶ所のホールにて公演を行う。2007年福岡シンフォニーホールにて第1回定期演奏会を開催。意欲的なプログラムと、景山の創り出す親密かつ精緻なアンサンブルに高い評価を得る。以降、年1回の定期演奏会を主軸に活動を展開している。2012年には初の海外公演となる韓国・釜山市での公演を行った。第22回福岡県文化賞奨励部門受賞。

Acros String Ensemble



かげやま せいじ 景山誠治 コンサートマスター

東京芸術大学首席卒業。高校在学中に日本音楽コンクール入賞、松下賞受賞。81年ヴィニエアフスキ・コンクール入賞、84年ロン＝ティボー国際コンクール最高位入賞。89年ベルリンでリサイタル、ドイツ8都市のオーケストラと共演。92年ベルリン・コーミッシュオーバーオーケストラと共演、ミュンヘン、ライプツィヒでリサイタル。95年中南米諸国でリサイタル、ベネズエラ国立シモンボリバルオーケストラと共演。ソリスト、室内楽奏者として活躍するほか、霧島国際音楽祭講師及び企画委員を務めた。現在、桐朋学園大学教授。96年からアクロス福岡ヴァイオリンセミナー講師。

いとぶんかいかん 伊都文化会館

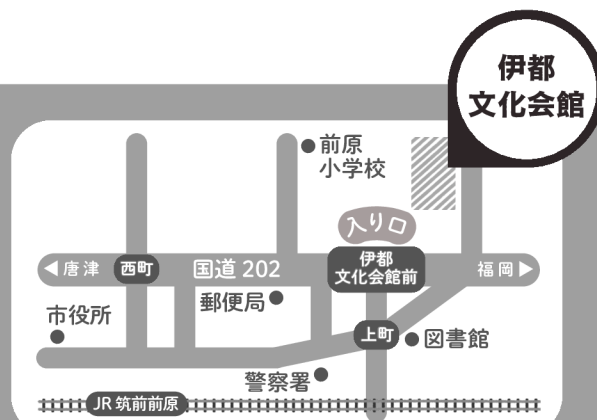
指定管理者(株)福岡市民ホールサービス

〒819-1119 福岡県糸島市前原東2-2-7

☎ 092-323-1128

<https://www.ito-bunka.jp/>

月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日休館)



駐車場には限りがございます。
できるだけ公共交通機関を利用ください。

SDGsの取り組みをつなぐ「いとしまアクションリレー」 参加者募集開始（SDGs 行動・実現促進事業）

1. 概要

市内で実践されている、個人・企業・団体等の SDGs 活動を市ホームページや広報、SNS 等を通じて可視化・共有します。あわせて、それぞれの取り組みをバトンのように人から人へとつなぎ、市内に SDGs の取り組みの輪を広げていく事業です。

2. 募集する情報

市内の家庭・学校・職場など日常生活の中で取組んでいる、SDGs の達成に向けた活動

3. 対象者

市内に在住・在勤・在学している人。（個人・企業・団体等を問いません。）

4. 応募方法

下記いずれかの方法で応募してください。

(1)ふくおか電子申請

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/kRUwTaNn>



(2)電子メール、FAX、郵送または持参

応募シート（別紙様式）を下記のいずれかの方法で提出してください。

応募方法	応募先
電子メール	kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp
FAX	092-323-2344
郵送	〒819-1192 糸島市前原西1-1-1 糸島市企画秘書課企画調整係 担当宛
持参	市役所4階10番窓口（企画秘書課）

5. 募集期間

令和8年7月27日から令和9年2月28日まで

6. 応募の基準

応募にあたっては、以下のすべての要件を満たしている必要があります。

応募の基準	
①	SDGsに関連する取り組みであること
②	第三者の権利(個人情報・著作権など)を尊重していること
③	法令等を遵守していること
④	公序良俗に適合していること
⑤	人権に配慮していること
⑥	政治的中立性を保っていること
⑦	宗教的中立性を保っていること
⑧	非営利の活動であること
⑨	社会問題に関する特定の主義・主張に偏っていないこと
⑩	公衆に不快感や危害を与えないよう配慮がなされていること
⑪	青少年保護の観点から適切であること
⑫	消費者利益の保護及び公正な競争の観点から適切であること
⑬	その他、公表する内容として妥当であると市が判断したものであること

7. 公開

ご応募いただいた SDGs の取り組みを市ホームページ・広報・SNS 等で紹介します。なお、上記「応募の基準」を満たさない取り組みについては、公開対象外となりますのでご了承ください。

8. 記念品

市ホームページや広報、SNS 等で公開された場合は、「花咲く再生紙 シードペーパー®」でできた感謝状を記念品として応募者に郵送させていただきます。(シードペーパーは SOUP Inc.の登録商標です。)

9. 留意事項

応募にあたり提出された書類及び添付資料、写真等は、糸島市SDGsの普及・啓発を目的として、糸島市が活用できるものとします。提出された個人情報については、市で適切に管理するとともに、当事業に関する事務以外には使用しません。

【問い合わせ先】

糸島市 経営戦略部企画秘書課

企画調整係 担当：古藤、吉岡

電話番号：092-332-2061

メール：kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

《参考》

1. SDGs未来都市とは

SDGs未来都市とは、内閣府地方創生推進室が、SDGsの達成に取り組んでいる都市を選定する制度である。目的は、日本全体が持続的な経済社会の推進を図るために、その優れた取組を世界中に発信していくことにある。特に、「経済」「社会」「環境」という3つのテーマに取り組むうえでこれまでとは違う新しい価値を創り出し、課題を解決することが求められている。2018年度から2026年度までに219の都市がSDGs未来都市に選ばれており、本市は2023年度に選定されている。

持続可能な開発目標(SDGs)

■ 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「**誰一人取り残さない**」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする**17の国際目標**。(その下に、169のターゲット、231の指標が決められている。)

(①貧困)	(②飢餓)	(③保健)	(④教育)	(⑤ジェンダー)	(⑥水・衛生)
1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康で長生きを	4 質の高い教育をみんなに	5 性別平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
(⑦エネルギー)	(⑧成長・雇用)	(⑨インフラ)	(⑩不平等)	(⑪都市)	(⑫生産・消費)
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業・基盤施設の発展を促そう	10 国内の貧困をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任、つかう責任
(⑬気候変動)	(⑭海洋資源)	(⑮陸上資源)	(⑯平和)	(⑰実施手段)	
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

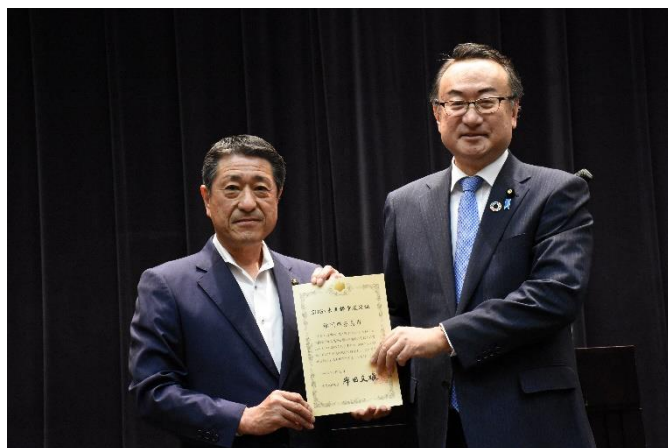
普遍性 先進国を含め、全ての国が行動

包摂性 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」

参画型 全てのステークホルダーが役割を

統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む

透明性 定期的にフォローアップ

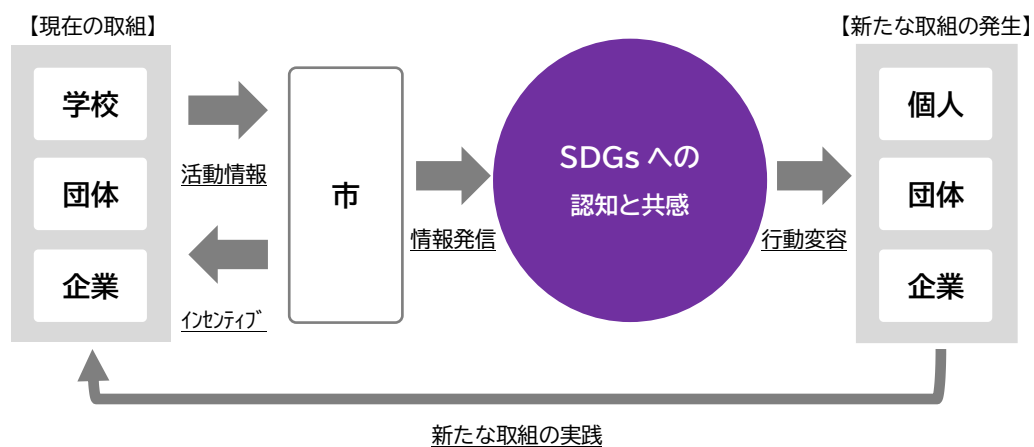


2. SDGs未来都市としての意義と取組の方向性

SDGs未来都市への選定を契機に、サステイナブルな都市であるという点を外部に発信するだけでなく、企業や市民など市全体で、SDGsにつながる取組の自律的好循環の形成につなげていきたい。

そこで、市では令和6年度から7年度にかけて、SDGs認知・共感促進事業を実施し、市民、団体等のSDGsにつながる活動を「見える化」し、広く“認知”してもらうことで“共感”を促し、SDGsに対する市全体の意識を高めるとともに、一定程度、市民の行動変容にもつながった。

今後は、新たな事業により、市民によるSDGsにつながる新たな取組の発生と、自律的な実践を後押しし、2030年が期限となるSDGsの達成に寄与していく。



【補足】令和6年度・7年度の取組（SDGs認知・共感促進事業）

【目的】

市民、団体、企業等が実施しているSDGsの達成に向けた具体的な活動に関する情報を収集し、市広報やSNS、ホームページを通じて広く発信する。それにより、市民や団体等の活動を「見える化」し、広く“認知”してもらうことで“共感”を促し、SDGsに対する市全体の意識を高めるとともに、市民等の今後の行動変容につなげていくことを目的とする。

【令和6年度のSDGs認知・共感促進事業の実績】22取組

学校名	取材した取組内容
前原小学校	ペットボトルキャップをしおりに再利用
加布里小学校	学校生活を通じた堆肥づくりと紙リサイクル
波多江小学校	アイマスクと車いすの体験授業
長糸小学校	郷土愛を育む米づくり
雷山小学校	地域の人に学ぶ昔遊び
怡土小学校	九大生による出前授業
前原南小学校	「海」「ユニセフ」「食料飢餓」について学ぶ
南風小学校	野菜の生産者を招いた「給食感謝の会」
東風小学校	校区探検で地域を知り人とつながり、発見を伝える
深江小学校	地元団体と連携した福祉の体験授業
福吉小学校	小中学生合同の海岸清掃
一貴山小学校	地域に見守られ 毎日歩いて登校
桜野小学校	梅林の歴史を学び 伝統を受け継ぐ
可也小学校	地域団体との花植え活動でランナーを応援
引津小学校	海岸清掃と稚魚の放流体験
姫島小学校・志摩中学校姫島分校	鎮山クリーンアップ活動
前原中学校	前中通学路クリーンアップ作戦
前原東中学校	イチゴを活用した加工品の開発・販売
前原西中学校	生徒会主体のフードドライブ活動
二丈中学校	多様な性をテーマにした人権学習
福吉中学校	雑草堆肥化プロジェクトで地域を活性化
志摩中学校	模擬会社「おいも〜ず」で“働く”経験

【令和7年度のSDGs認知・共感促進事業の実績】14取組

企業・団体名	取材した取組内容
前原ダイキュー運輸株式会社	国籍・性別・年齢や障がいの有無を超えた雇用を促進
株式会社へいせい	住民と企業が共につながりを育てるまち「オリーブガーデン糸島」
松吉建設株式会社	捨てられるはずの木材から 子どもたちへ届けるものづくりの心
株式会社へいせい（居住支援法人）	誰もが安心して暮らせるまちへ 糸島初の居住支援法人の挑戦
社会福祉法人二丈福祉会	福利厚生とキャリア形成を重視、誰もが生き生きと働ける職場に
有限会社北伊醤油	糸島の豊かな自然を守りたい。128年続く醤油蔵の取り組み
株式会社スチームシップ	地域で人を育て、未来をつくる「地域の宝探しカンパニー」
株式会社環境技研	耕作放棄地を利用した米作りで 社員も地域も幸せに
特定非営利活動法人 いとしまこども食堂ほっこり	学生が挑む「0円食堂」―地域の力でつながるフードロス削減の循環
創価学会九州納骨堂事務局	26年の積み重ねが育んだ信頼-多彩な活動で地域と歩む
株式会社二丈環境整備センター	環境保全事業に加え、全社員でSDGsを学び身近な取り組みを実践
株式会社へいせい（海外人材育成）	国境を超えた海外人材育成の可能性
株式会社アクアグローバルフーズ	糸島の海を守り続け、後世へ残すための挑戦
糸島市食生活改善推進会	地域に密着した食進会が続ける、キャップ集め、食品寄付、食事提供

■進呈する感謝状のサンプル

いとしま SDGs アクションリレー 感謝状



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

このたびは「いとしま SDGs アクションリレー」にご応募いただきありがとうございました。

ささやかなお礼として、土に埋めると花が咲く「シードペーパー®」のポストカードをお送りします。

皆さまの活動が、糸島の地で大きく花開き、未来へつながっていくことを心から応援しています。

一緒に SDGs の輪を広げていきましょう。



糸島市
令和8年度
SDGs 行動・実現促進事業



市ホームページ

この紙は、花咲く再生紙 シードペーパー®を使用しており、カモミールの種が濃き込まれています。

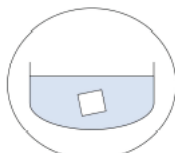
春・秋にぜひ植えてみてください。

紙の部分は、徐々に分解され、数ヶ月で土に還ります。

シードペーパーは SOUP Inc. の登録商標です。詳しくは右コードをご覧ください。



シードペーパー育て方
(SOUP Inc. ホームページ)



ひと晩水に浸し
種に水分を含ませる



5～10mm ほど土に埋め
上から軽く押さえる



乾かないよう水やり
5～10 日ほどで発芽します

応募シート（別紙様式【公表面】）



いとしま SDGs アクションリレー「わたしの SDGs アクション」

企業・団体名

氏名

（団体等の場合は代表者氏名）

活動テーマ

取組の説明 SDGsに関連して、現在取り組んでいる活動内容を記載してください。

※（電子メールで提出する場合）写真・画像は、応募シートに貼付けずデータのまま別途提出してください。



応募シート（別紙様式【応募者情報】）

いとしまSDGsアクションリレー

ご応募にあたり、『SDGs 発信事業「いとしま SDGs アクションリレー」（糸島市 SDGs 行動・実現促進事業）募集要項』をご一読ください。提出された個人情報については、市で適切に管理するとともに、当事業に関する事務以外には使用しません。

連絡先（内容確認のためご連絡する場合があります。必ずご記入ください）

ふりがな	
氏名	
郵便番号	〒 —
住所 (記念品の送付先)	
電話番号	
メールアドレス	

ご応募いただいた取組みの公表の可否について「はい」・「いいえ」のいずれかに「○」をつけてください。

市ホームページ・市広報・SNS等での取組の紹介について、 団体・企業名・氏名の公開を了承しますか。 (取組のタイトルや内容については公開させていただきます)	はい	いいえ
【備考】「氏名のみ非公開希望」など、特記事項があればご記入ください。		

SDGsの輪を広げよう（紹介欄）

周りでSDGsの活動に取り組んでいる個人・企業・団体等がいっぱいありましたら、ぜひご紹介ください。
ご紹介いただいたメールアドレスに、市から当事業のご案内をさせていただきます。
※ご本人様に「市から連絡がいくこと」を事前にお伝えいただきますようお願いいたします。

ふりがな	
氏名または団体名	
メールアドレス	